

SiM24、JTLとパナソニックによる資本提携について

パナソニック株式会社の社内ベンチャー制度により設立された株式会社SiM24※1（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長 大木滋、以下「SiM24」と）JAPAN TESTING LABORATORIES株式会社※2（本社：岐阜県大垣市、代表取締役社長 野原祐樹、以下「JTL」）およびパナソニック株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役社長 津賀一宏、以下「パナソニック」）の3社は、本日、以下の通り資本提携の手続きを完了しました。

1. 資本提携の概要

パナソニックの社内ベンチャー制度「パナソニック・スピニアップ・ファンド」により2005年4月に設立したCAE※3の受託解析（シミュレーション）専業会社 SiM24の更なる成長を実現するため、パナソニックはJTLに対してSiM24の発行済み普通株式の一部を譲渡しました。これにより、出資比率はSiM24経営陣その他 34%、JTL 33%、パナソニックは66%から33%となりました。

2. 資本提携の目的

SiM24は、2005年の設立以来、シミュレーションをベースとしたCAE技術を活用して、お客様の設計・製造現場の技術革新やコスト削減に貢献してきました。

IoT新時代を迎え、設計開発の合理化（期間短縮、性能向上、コスト削減など）には、従来から培ってきたCAE技術に加えてデータの数理統計解析技術やデータ計測・評価・分析技術を総合的に活用したトータルソリューションが求められています。SiM24は、このトータルソリューション体制を構築するため、高度な計測・評価・分析技術に経験と実績のあるJTLと提携することとしました。

JTLは自動車産業を中心に計測・試験・分析サービスを強みとしており、今回、SiM24の家電・回路部品・バイオ・アグリ分野などへの幅広いシミュレーションと統計処理技術を連携させることで広範なソリューション提案につなげ、事業をさらに拡大、加速していきます。

SiM24およびJTL両社は、将来にわたる協力関係を構築し、CAE技術及び数理統計解析技術に加え物理・化学データを計測評価することにより、幅広いお客様のニーズに迅速にお応えできる体制の構築を目指します。

※1 株式会社SiM24

<http://www.sim24.co.jp/>

2005年4月、設立。小さな電子部品から大きな工場まで、幅広い分野および製品に関する受託シミュレーションサービス、CAEを活用したソリューションを提供。創業当時から完全在宅勤務制で、新しい働き方を創造する総務省のテレワーク先駆者百選にも認定されている。

※2 JAPAN TESTING LABORATORIES株式会社

<https://jtla.co.jp/>

1999年6月、エイキット株式会社を設立。主に自動車産業に向けた開発品の信頼性評価受託サービスを展開し、計測・評価試験・分析を中心に幅広いサービスを提供する。2017年10月分社化され、JAPAN TESTING LABORATORIES株式会社として独立した。

※3 CAE

CAE（Computer Aided Engineering）とはコンピューターによって工業製品の設計・開発を支援するエンジニアリングシステムのこと。コンピューターで解析シミュレーションすることで、従来必要であった試作・実験などの工程を短縮することができる。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。